

# 花 信

## 目 次

電子図書館と古典的図書館 .....	1	お知らせ .....	8
電子ジャーナルパッケージの提供開始について .....	2	( 図書館講演会 ) .....	8
電子ジャーナルサービスを活用しよう! .....	4	( 本学関係者著作寄贈図書一覧 ) .....	9
電子ジャーナル「べからず」帳 .....	6	分館だより( 医学部分館 ) .....	10
利用者の声から .....	7	業務日誌 .....	11
学外者貸出スタート .....	8	人事異動 .....	12

## 電子図書館と古典的図書館

学術情報・図書館委員会委員長(副学長) 村山 研 一

電子化によって文献入手や読書のあり方は大きく変わっている。例えば、諸官庁で作成する統計資料入手の利便性は、ネット化によって飛躍的に向上した。これらの統計は、多くの公共図書館では常備書となっている『日本統計年鑑』等には縮約されて収録されているが、元の詳細な統計を入手しようとする苦勞する。わずか数ページの統計のために、所蔵する図書館を探し回り現物を確認しなければならない。必要な数ページがどの部分にあるかが分からないからである。外国のものになると、この苦勞は倍加する。しかし最近では、ホームページでこれらの統計を公表する例が増えてきた。例えば、2000年の国勢調査をみると、公刊する集計表については、ホームページからエクセル形式でダウンロードできるようにする様である。また、刊行書にもCD-ROMが添付されており、本の出版自体が電子的利用を強く意識している。アメリカの場合にはさらに進んでいて、人口センサスの報告書をアクロバット形式でダウンロード可能である。(ただし、大きなものでは数十MBになるが。)

著作権フリーの出版物であれば、誰でもがアクセスでき、誰でもが自由にダウンロードできる状態が急速に広がっている。著作権の問題さえクリアできれば、このような動きは一般の書物にも広がってゆくであろう。むしろ、ネットでの公開は一般の人々の著作「出版」を容易にするともいえる。このような動きが進めば、小さな無数の分散型図書館がネットワークでつながり、図書館は端末と専用の検索エンジンを用意すればよいということになりかねない。

しかし、電子書物がリアルな書物に代替できるかという点、それは不可能であろう。量が圧縮されるのは非常にありがたい。しかし、ネットに乗るのは一部の書物だけである。気ままに蔵書を検索する、本のページをめくる、このようなことから得られる発見は何ものにも代え難い。また、書物の実物とその背後に抱えている歴史や社会というものが電子書物からは失われ、平板なものになってしまう。(これは、私が人文社会分野の人間だから感じることであろうか。)文字から得られる情報は電子書物でも保持できようが、書物から得られる情報はすっかり消えてしまう。

今後、ネットを使用する部分についての使用条件は、すべての図書館で同一になっていくであろう。そうすると、図書館の格として本当に問われるのは、現物書物の充実度である。特に数よりも質の充実度、コレクション(書物だけでなく文書等の現物資料のコレクション)の充実度が問われることになるだろう。大学図書館も、単に教育研究用に使う(もしくは使った)本を収蔵するだけでなく、コレクションを創るということを重視していく必要があるだろう。

(むらやま けんいち)



「山辺」  
小林万吾(1870-1947)

## 電子ジャーナルパッケージの提供開始について

2002年度より、電子ジャーナルパッケージの内、LINK(Springer)・ScienceDirect(Elsevier Science)について、国立大学図書館協会会員館で構成するコンソーシアムに参加し、新たにサービスを開始します。

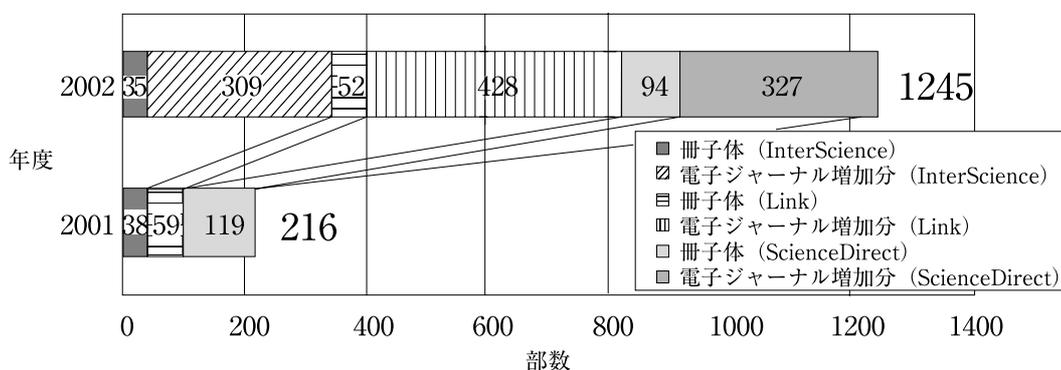
2001年度までは各社の電子ジャーナルの利用は冊子体購読タイトルのみに限られ、同時接続ユーザの制限等もありましたが、今回のコンソーシアム参加により、それぞれのパッケージの一部もしくは全タイトルを同時接続ユーザ等の制限なしに利用することができます。そして、2002年より購読を中止したタイトルをはじめとして、2001年の冊子体購読分の6倍近いタイトルが、ほぼ変わらない金額で利用可能となります。

なお、電子ジャーナルの本格的導入については、平成14年度学術情報専門部会において検討することになっています。

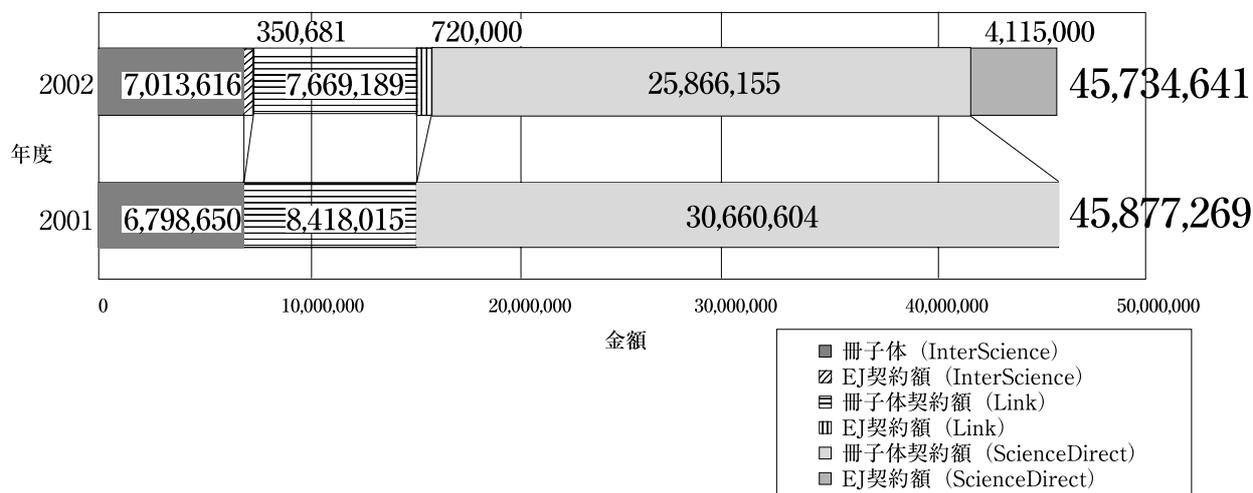
各パッケージの概要

パッケージ	出版社	契約期間	利用範囲	タイトル数 (2002/2/1 現在)
InterScience	John Wiley	2002年1月 - 2002年3月 (トライアル参加)	全タイトル	344
Link	Springer	2002年4月 - 2003年3月 (トライアルとして2002年1月より利用可)	全タイトル	480 (うち全文利用可能 タイトル数は396)
ScienceDirect	Elsevier	2002年4月 - 2003年3月	医学・理学・ 農学系6分野	394

電子ジャーナルを導入した場合の比較(タイトル数)



電子ジャーナルを導入した場合の比較(所要金額)(2002年は概算)



# 電子ジャーナルサービスを活用しよう！

## Springer社LINKとElsevier Science社ScienceDirectの使い方

### 1. Springer社LINKとElsevier Science社ScienceDirectとは？

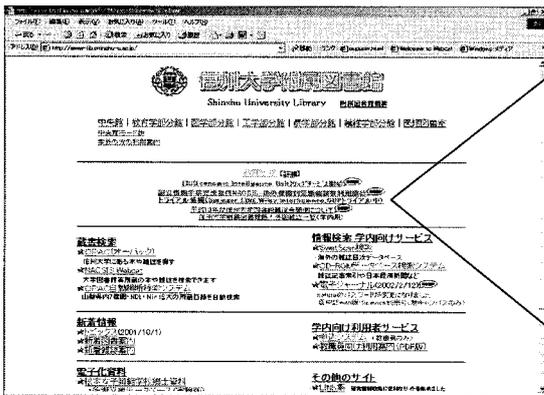
LINKはSpringer社が、ScienceDirectはElsevier Science社が提供している電子ジャーナルサービスです。今回の試験提供では、LINKについてはSpringer社及び関連出版社から刊行されている約500タイトルのうち480タイトルを、ScienceDirectについては、Elsevier Science社から刊行されているタイトルのうち、ライフサイエンス系6分野の394タイトルを利用できます。もちろん本学非購読誌も利用できます。

### 2. LINKとScienceDirectへの接続方法

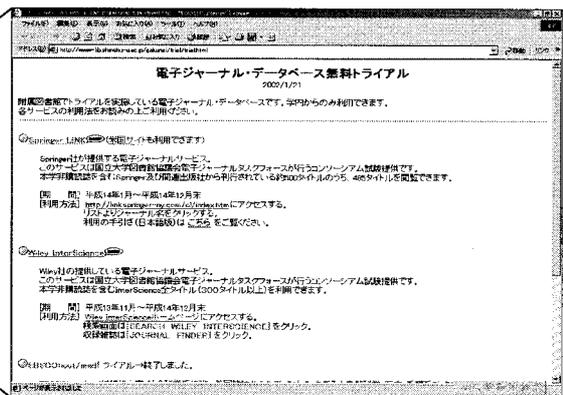
学内LANに接続しているクライアントから附属図書館ホームページ(URL : <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/>)を通してアクセスすることができます。

図書館のトップページ上の【お知らせ】のトライアル情報をクリックすると次のような"電子ジャーナル・データベース無料トライアル"ページが表示されます。このページからそれぞれのホームページへリンクしています。

(附属図書館ホームページ)



(トライアル情報のページ)



### 3. 利用方法

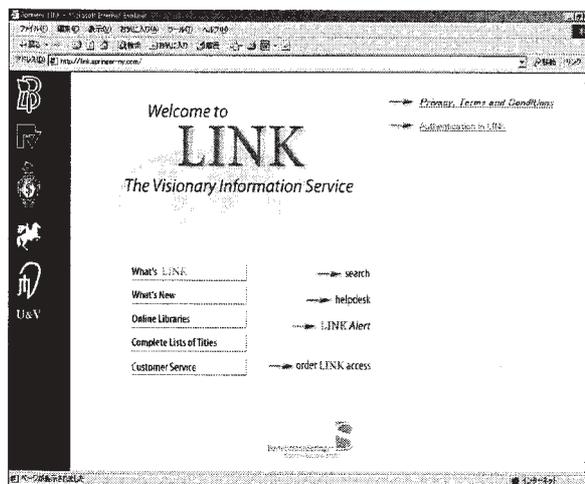
Springer社LINKを利用する

#### -1 雑誌タイトルから探す

LINKのトップページの[Online Libraries]をクリックすると、分野ロゴが表示されたページが表示されます。分野を選択するとジャーナルリストが表示されるので読みたいジャーナルをクリックします。また収録雑誌すべてを見たい場合はトップページの[Complete Lists of Titles]をクリックします。各ジャーナル名に付いている4種類のアイコンは、出版状態などの情報サービスの利用可否を表示しています。

LINK 分野別タイトル数 (H14.1.23 現在)

分 野	タイトル数
Chemical Sciences	41
Computer Sciences	54
Economics	41
Engineering	69
Environmental Sciences	41
Geosciences	56
Law	15
Life Sciences	116
Mathematics	89
Medicine	348
Physics and Astronomy	67



-2 検索機能を使う

トップページの[ Search]をクリックすると検索画面が表示されます。検索条件に応じたの【LINK EasySearch】、【LINK Expert Search】、【LINK Site Search】の3種類の検索画面が用意されています。

Elsevier Science 社 ScienceDirect を使う (平成14年度導入予定)

ScienceDirect は1,200以上のタイトルを有するフルテキストデータベースです。このうち今回導入予定の内容はライフサイエンス系6分野合計394タイトルのパッケージです。具体的な利用方法は後日ご案内します。

-1 雑誌タイトルから探す。

ScienceDirectのトップページの[ Publications ]をクリックするとジャーナルリストが表示されます。続いて巻号リスト、目次、論文の順序でクリックします。

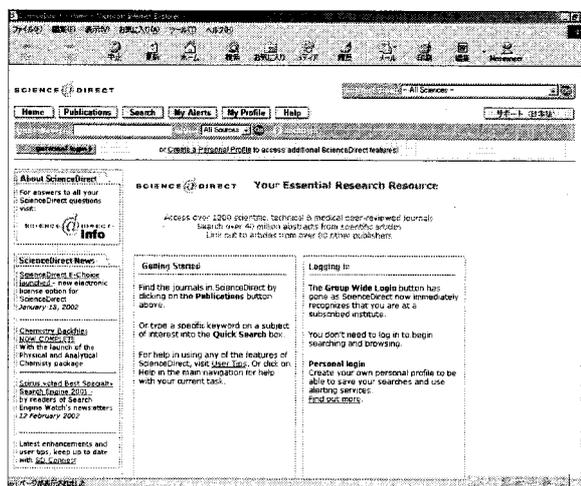
-2 検索機能を使う

ScienceDirectのトップページの[ Search ]をクリックすると検索画面が表示されます。一般的なキーワード検索のほか、対象雑誌の指定、検索分野の指定等が可能です。

ScienceDirect LifeScience 6分野別

タイトル数 (H14.1.23 現在)

分 野	タイトル数
Agricultural and Biological Science	87
Biochemistry, Genetics and Molecular biology	63
Immunology and Microbiology	44
Medicine	179
Neuroscience	66
Pharmacology, Toxicology and Pharmaceutics	41



## 電子ジャーナル「べからず」帳

国内外の出版物をインターネットで利用できる電子ジャーナルは、本学でもその利用可能点数が増加しています。以下に、利用者の皆さんが電子ジャーナルを利用する際に理解していただきたいこと、ご注意いただきたいことをまとめました。

印刷物(冊子体)の資料と同様、本学は毎年出版社や提供会社と契約し、電子ジャーナルの利用購読の「権利」を得ています。一般的に、電子ジャーナルなどの電子体資料の購読契約では、著作権・アクセス権・利用範囲など広い範囲にわたる各種の利用権と制約について明記されています。その概略は次の通りです。

- (1) 利用者は信州大学に所属する教職員・学生等であり、調査研究・教育を目的とした利用であること。

共同研究等の場合を除き、信州大学に所属する者のみが利用することができます。また、学内LANに正しく接続したパソコンから利用できます。

- (2) 利用範囲は、検索、閲覧、必要な最小限のファイルのダウンロード、及び印刷であること

営利的・非営利的、有料・無料に関わらず、他のファイル形式や複製システムを用いたデータの実質的またはシステムティックな複製、ソフトウェアを用いた自動ダウンロードや大量ダウンロード等はしてはなりません。

- (3) データのいかなる再配信・転売・利用許可契約の転貸の禁止

論文等を電子ファイルで他の者へ送信したり、FD等で渡したり、転売したり、利用許可を与えたりすることはできません。

- (4) データの改変の禁止

印刷物と同様、電子ジャーナルの著作物にも著作権があります。どのような場合であってもデータの改変はしてはなりません。

### ご注意下さい!

電子ジャーナルの場合、アクセス、ダウンロード等の利用状況は常に提供者によって監視されています。契約事項に違反する行為があったと提供者が判断した場合、バックファイルを含めてそのタイトル、あるいはパッケージ化された電子ジャーナル全体が利用できなくなる場合があります。電子体資料は種々の利用・応用が容易ですが、1人の利用者の不注意により、信州大学全体が利用停止等の不利益をこうむることがあります。

学術研究、教育、学習への飛躍的、効果的な支援を目指して導入する電子ジャーナルですので、利用の際には、利用者各位のご理解とご注意をお願いします。

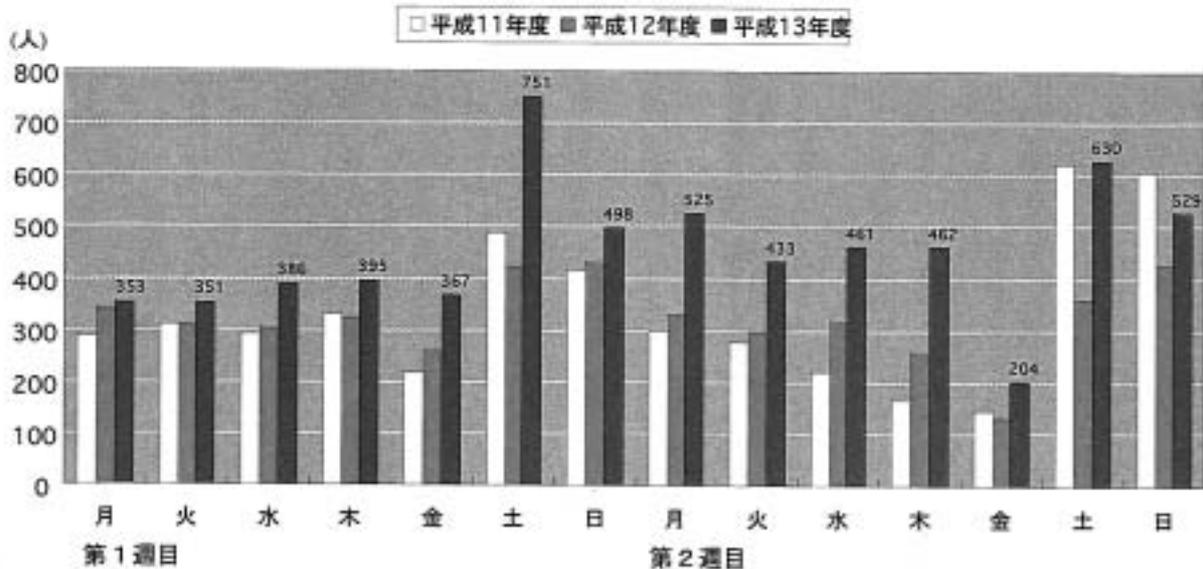
## 利用者の声から

### 開館時間を延長して欲しい(中央館)

#### 回答

図書館では、学習環境を整備するため様々な課題に取り組んでいます。「開館時間の延長」もその一つです。開館時間を延長するためには、経費の手当てやどの時間帯の延長がよいか等の課題が含まれており、これらの解決には少し時間はかかると思われませんが、重要な検討課題として取り組んでいるところです。

平成13年度には学長裁量経費により後期試験期間を含む2週間(平成14年1月21日(月)~2月3日(日))について、中央館で「時間外開館の1時間延長」を実施しました。時間帯別平均入館者数は平日17時~20時は約323人、20時から21時は約70人、また土・日曜日10時~16時は約463人、16時~17時は約138人でした。下記のグラフは後期試験期間の時間外開館入館者数を前々年・前年比で示したものです。



平成11年・12年度時間外開館時間：平日17時から20時まで 土・日10時から16時まで  
 平成13年度時間外開館時間：平成17時から21時まで 土・日10時から17時まで

### 卒業生にも図書を貸出して欲しい(中央館)

#### 回答

地域に開かれた大学図書館として一般市民の生涯学習や調査研究に役立てていただくため、従来から行なってきた館内開架資料の閲覧、複写、参考調査等のサービスに加え、昨年10月からは一般市民への図書の館外貸出を実施しています。館外貸出サービスの対象者は原則として県内在住で来館可能な満20歳以上の成人の方です。卒業生もこの条件に該当する方でしたら図書を借受けることができますので、どうぞご利用ください。

一般市民への図書の貸出を実施している図書館は、中央館のほか、教育学部分館、医学部分館、工学部分館、農学部分館、繊維学部分館です。登録手続きの際に住所、氏名、年齢を確認できる書類が必要になります。また貸出対象資料や貸出条件は各館で異なりますのでご注意ください。各館の情報は図書館ホームページ(アドレス：<http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/>)からご覧いただけます。

## 学外者貸出制度スタート

信州大学では、平成13年10月(一部の館では11月)から学外者への貸出を開始しました。  
1月までの登録利用者と貸出冊数は以下の通りです。

(月別貸出冊数)

館名	利用登録 者数(名)	月別貸出冊数 (冊)				
		10月	11月	12月	1月	合計
中央館	38	22	32	32	15	101
教育学部分館	11	0	6	3	7	16
医学部分館	1	0	1	0	1	2
工学部分館	14	6	17	14	10	47
農学部分館	10	2	5	2	1	10
繊維学部分館	7	0	2	6	2	10
合計	81	30	63	57	36	186

## お知らせ

### 平成13年度信州大学図書館講演会について

長野県の大学図書館職員を中心とする、大学関係者の研修とコミュニケーションの強化を目的に、平成14年2月、3月に信州大学附属図書館主催の図書館講演会を開催しました。県外の大学図書館職員、県内の公共図書館職員の参加もあり、好評をもって終了しました。

以下にその概略をお知らせします。

#### 第1回

開催日時：平成14年2月28日(木) 午後1時30分～午後5時

開催会場：信州大学各キャンパスSUNS会議室(5会場)

1) 松本会場、2) 西長野会場、3) 若里会場、4) 南箕輪会場、5) 常田会場

講演会テーマ：今後の大学図書館

#### 第1部

講師：千葉大学附属図書館長 土屋 俊 氏

演題：「大学図書館の今後」

#### 第2部

講師：国立女性教育会館情報交流課長 森高 桂子 氏

演題：「独立行政法人化と図書館サービスの新たな展開」

第2回

開催日時：平成14年3月14日(木) 午後3時～午後5時

開催会場：信州大学各キャンパスSUNS会議室(5会場)

講演会テーマ：今後の大学図書館

講師：京都精華大学情報館次長 藤岡 昭治氏

演題：「大学にとって総合力とは何か：情報館のビジネスモデル序説」

本学関係者著作寄贈図書一覧 <館室内寄贈順>

(平成13年9月～平成14年2月)

館名	書名	発行者	出版年	寄贈者	所属
中央館	続々 惜春の詩	松崎 一	2001	松崎 一	名誉教授
	戦場の一年	白水社	2001	柴野 均	人文学部
	北アルプスの植物と動物	松本市教育会 他	2001	清水建美	名誉教授
	フラクタル(シリーズ<非線形科学入門>1)	朝倉書店	2002	本多勝也	理学部
医学部分館	内科学：広く医療・医学に携わる方々へ	望月一郎	1995	望月一郎	元医学部・ 医療短大
	障害児の病理	日本文化科学社	1994	田巻義孝	教育学部
	Super Hospital：呼吸器科・循環器科	中山書店	2001	村瀬澄夫	医学部
	Super Hospital：麻酔科	中山書店	2001	村瀬澄夫	医学部
工学部分館	天文学への招待	朝倉書店	2001	木舟 正	工学部
繊維学部分館	新エネルギー自動車の開発と材料	シーエムシー	2001	山田興一	繊維学部
	一粒のケナフから	創森社	2001	西松豊典	繊維学部
医療短大図書室	新女性医学大系 第22巻 正常妊娠	中山書店	2001	飯沼博朗	医療短大



ガイダンス風景

## 分館 だより：サービス拡充，1.2.3！

医学部分館

世界情勢は深刻、日本経済はドン底、もちろん大学の予算は研究費も図書館資料購入費もさみしい限りという状況で、お金がない(=本や雑誌やパソコンが買えない)なら、せめて使いやすい図書館を、とできることから始めています。中には他の図書館では当たり前のこともありますが、医学部分館のこの半年をご覧ください。

### 1 自動入退館装置による特別利用の開始

資料の持ち出し防止装置、電気錠システム、照明のタイマーやセンサーがようやくそろって、開館時間外の特別利用ができるようになりました。

利用できる方も、2002年3月からは専任教官以外の教職員にも拡大されます。

### 2 グループ学習室設置

6人も入れば一杯の小さな部屋ですが、周囲を気にせず教え合いや相談ができるスペースです。

半年の利用件数は23件、74名。リピーターが多いのは好評と考えてよいのですが、他の方もぜひご利用を！

### 3 ケーブルテレビ経由のインターネット接続パソコンを設置

学内LANが停止した場合でもインターネットが使える環境を、とケーブルテレビ経由のパソコンが1台あります。

学内LANよりこちらの方がサイトの表示が速いという不思議な声も...？

### 4 学部外者・学外者への館外貸出の開始

中央館に合わせて、学部外者・学外者への館外貸出を始めました。

医学部分館の学外利用者は、平成8年度：21人、9年度：32人、10年度：27人、11年度：38人、12年度：171人と急増しています。今年度もすでに200人を超えています。

目標、「皆様のお役に立つ医学図書館」！

その他、机の配置を変えて座席数を増やす、事務用のプリンタを2階の利用者用パソコンに移設する、持ち込みのパソコンが使える場所を作る、新しく買った図書を入口に展示する、案内の掲示を作りなおす、など貧乏臭くも涙ぐましい努力をしています。利用者の方々のご要望にも、お金をかけずにできる事であれば積極的に応えていきたいと考えています。どうぞ、ご意見・ご要望をお寄せください。

そして、皆様の中で不要になった机、椅子、ホワイトボードをお持ちの部署がありましたら、ぜひ医学部分館に譲ってください.....。



## 業務日誌

### 平成13年

- 9月27日 信州大学学術情報・図書館委員会学術情報専門部会 (平成13年度第1回 附属図書館会議室)
- 10月20日 長野県図書館大会大学専門部会 (岡谷市/情報管理課:金井)
- 10月22日 信州学術情報・図書館委員会 (平成13年度第3回 SUNS 使用)
- 10月23~25日 平成13年度信州大学会計事務総合基礎研修  
(あづみ荘/雑誌情報係:波止、繊維学情報係:渡辺)
- 10月23~26日 平成13年度長野地区国立学校等・機関合同監督者研修 [JST 基本コース]  
(国立信州高遠少年自然の家/図書館情報係:大内)
- 10月25日 Dublin Coreとメタデータに関する研修 (学術総合センター/学術情報係:手塚)
- 11月5~6日 平成13年度北信越地区国立大学図書館研修会  
(福井医科大/医学情報係:伊藤、繊維学情報係:武田)
- 11月6~9日 平成13年度大学図書館職員講習会 (大阪大/教育学情報係:鳴澤、工学情報係:鈴木)
- 11月22日 信州大学学術情報・図書館委員会学術情報専門部会 (平成13年度第2回 附属図書館会議室)
- 11月28~30日 平成13年度第3回目録システム講習会「雑誌コース」  
(国立情報学研究所/雑誌情報係:波止)
- 11月29日 平成13年度北信越地区国立大学附属図書館事務(部・課)長会議  
(信州大/事務部長、情報管理課長、情報サービス課長)
- 12月7日 大学図書館著作権問題ワークショップ (早稲田大/資料サービス係:犬浦)
- 12月17日 信州大学学術情報・図書館委員会学術情報専門部会 (平成13年度第3回 SUNS 使用)
- 12月18日 信州学術情報・図書館委員会 (平成13年度第4回 SUNS 使用)
- 12月18日 信州大学学術情報・図書館委員会附属図書館運営専門部会 (平成13年度第3回 SUNS 使用)
- 12月19~20日 第14回国立大学図書館協議会シンポジウム (埼玉大/雑誌情報係:桃井)

### 平成14年

- 1月17日 平成13年度国立大学附属図書館事務部長会議 (山形大/事務部長)
- 1月31日 全学図書関係係長会議 (平成13年度第2回)
- 2月7日 電子ジャーナル説明会 (富山大/情報サービス課長)
- 2月19日 人文・経済・理学部委員懇談会 (附属図書館会議室)
- 2月19日 平成13年度大学図書館等情報化支援会議 (学術総合センター/学術情報係:手塚)
- 2月28日 平成13年度第1回図書館講演会:  
第1部テーマ「大学図書館の将来像」  
講師:千葉大学附属図書館長 文学部教授 土屋 俊 氏  
第2部テーマ「独立行政法人と図書館サービスの展開」  
講師:国立女性教育会館情報交流課長 森高 桂子 氏
- 3月4日 信州大学学術情報・図書館委員会学術情報専門部会 (平成13年度第4回 SUNS 使用)
- 3月14日 平成13年度第2回図書館講演会:「大学にとって総合力とは何か:情報館のビジネスモデル序説」  
講師:京都精華大学情報館次長 藤岡 昭治 氏

## 人事異動

日付	区分	新官職名等	氏名	旧官職名等
13. 9. 30	辞職		木下 英樹	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)
	辞職		井上 文秀	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)
	辞職		関谷 恒久	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)
13. 10. 1	採用	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)	姫野 晃一	
	採用	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)	原 謙太郎	
	採用	農学情報係事務補佐員 (時間外担当)	鈴木 博之	
13. 10. 31	辞職		中沢 亜弓	図書情報係事務補佐員
13. 11. 1	採用	図書情報係事務補佐員	吉見寿美恵	
13. 11. 15	辞職		阮 宗海	医学情報係事務補佐員 (時間外担当)
13. 12. 28	辞職		小山 優子	図書情報係事務補佐員
14. 1. 4	採用	図書情報係事務補佐員	清水佐枝子	
14. 2. 1	辞職		庄村のぞみ	工学情報係事務補佐員
14. 2. 2	職務復帰	工学情報係	小林香代子	



中央館 第1閲覧室

花 信 第11号 2002年3月31日 [年2回発行]

編 集 花信編集委員会(長友良維・金井忠彦・波止教史・犬浦恭子・伊藤葉子)

発 行 信州大学附属図書館

〒390-8621 松本市旭3-1-1

TEL 0263 (37) 2174 ・ FAX 0263 (33) 5833

URL : <http://www-lib.shinshu-u.ac.jp/>

E-mail : [jja0141@gipac.shinshu-u.ac.jp](mailto:jja0141@gipac.shinshu-u.ac.jp)